

療育研修会実施状況

静岡 支部

参加数 20 名

実施場所 静岡市番町市民活動センター



実施を終えて

(参加者の感想等 具体的に)

1. リハビリに関しては世の中ではいろいろ言われているが、筋力などに適用するのは、どのくらいあるかと思われているがよく理解できた。
2. 治療の研究がとんとん進んでいるのは希望を持って居るが、一方実際に適用するまでにはかなりの年数がかかるようだ。
3. いよいよ手厚い福祉の用意がされていると感じた。

(実施担当者としての感想・反省等)

講演終了後、講師への個別質問・相談があった。1〜2時間個別質問をもうけて個別相談会を行えば、多数の方の中には質問するよりは、発言しやすかったと感じた。

療育研修会 講演内容

静岡 支部

◆テーマ 筋ジストロフィー療育研修会

講師 小森哲夫 院長先生

講演① 筋ジストロフィーについて 箱根病院 院長

筋線維の変性と壊死を起すことによる全身疾患である。典型的なデラシ型、股体型、顔面肩肘腕型について遺伝子の作用と病気の進行について解説。最近の遺伝子治療技術の研究状況の説明があり、根本治療の完成まで、10年と命を長らえる様に医療的支援をするべく、病院の総合的な活動を行っている。

講演② 筋ジストロフィー患者の日常生活と支援について 療育相談士 山田宗伸

病気が治療で完治しないと思いが、その有効な手段がない今、患者さん達と人生を希望しているが、面的に把握して、そのニーズを答えるのが福祉サービスと大切だと。箱根病院では「共に生きる」を大テーマとして喜びを感じられる療養生活全般構築する努力を。

講演③ 筋ジストロフィーリハビリテーション運動療法 I 加藤友記

根本治療に向けて、日々研究がすすんでいるが、その治療がはじまるまで、元気に暮らしていこうと思う。筋肉の変性による関節拘縮を避けるために、呼吸訓練など進行に応じて適切な方法を実践に欲しい。無理なやり方は逆効果であり、注意が必要。